

## 一吉綴り Ichikichi-tuduri 「加飾紙の日々・第三号」

2017年06月吉日 記：一色清

加飾紙とは、伝統的材料・図柄・技法・美意識を尊重し、暮らしを潤し豊かにすることを目指し開発した当社の室内装飾紙です。

初夏の候、貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。  
微力ではありますが、日々重ねている加飾紙についてお伝えいたします。

### \* 東京手仕事展について

5/24～6/6日 日本橋三越本店本館5階 スペース#5

東京手仕事は、伝統の技に光を当て、匠の繊細な手仕事の魅力を国内はもとより世界に発信していく取り組みです。



東京手仕事認定「香り紋」と一吉和紙小物を展示販売中

### 5/26～28日 ワークショップ【箔押し体験】続報

箔で作るオリジナル香紋の製作



2017/5/24日初日展示 by 島田 in 三越様  
ドキドキの連続でした。

ワークショップ by 一色 in 三越様  
スーツでネクタイを締めていきました

おかげさまで、多くの方に箔細工を体験していただくことができました。  
デパートでの【箔押し体験】初挑戦は、三越様、公社様、LIVESの方々に応援いただき  
無事に終了いたしました、誠にありがとうございます。

今回のワークショップ依頼も、何件かお引き合いをいただきました。

嬉しいことに、箔押しによる1点もののインテリアパネル【箔細工パネル】は、  
ご夫婦のお部屋に並べて飾るとのことで、数枚まとめてお買い上げいただきました。  
新しい図柄をご提案しながら、一吉の主力商品として育てていきたいとおもいます。

作業現場とはちょっと違う3日間、おかげさまで、すべてが貴重な経験となりました。

### \*床の間の文化について

平安時代、和様化の中で生まれた押し板文化が始まりといわれます。  
新しく、美しい異国の書や絵画を飾り人々が集まり飲食を共にする。  
書院が生まれ、床の間の文化となり、ついこの間まで、庶民にも引き継がれ、  
人々の交流と美意識の醸成に寄与し、おもてなしの日本文化を育んできました。  
いろいろな美意識に、物語に、触れていくと、多様性を認める寛容な気持ちが持てるそ  
うです。残念ながら、現在は床の間自体が無くなりつつあります。

この度の三越様での経験で、新しい和の美観の商品が次々と生まれていることを知り、  
もしかすると、床の間の文化は個人宅よりも百貨店様で継承されていくのかと。

屏風や掛け軸などのインテリア、着物、お茶、お花、香り、などの文化、  
それぞれの工芸品を主人のテーマで提案 飲食の提供や器の鑑賞、  
ワークショップなどの歓談の場の設定などなど、思いつくことが沢山ありました。  
機会を見つけて、三越様にお話ししてみようかな。



日本の美術第152号 床の間と床飾り

\*天然材料と伝統手業の加飾紙 無彩 NOCOLOR について  
2017年6月1日発売開始です。



無彩 12 種



無彩使用天然材料

### 無彩の開発目標

環境にやさしく、日々の暮らしを豊かにする商品

無駄を減らし、お客様要望の必要な分だけ制作する仕組み

継承してきたからかみ文化を基本に新たな「和のおもてなし」「和の美観」の提案

### きっかけ

襖紙や壁紙など室内装飾紙は、大量生産による画一化、ロスの増大、価格競争が起きている。

継承してきたからかみ加飾 3代目としては、襖など和文化の美意識を再提案したい。

当社も印刷加工に傾いていたが、砂子師、先代の残した材料や道具、うろ覚えの知識経験を頼りに手業の再構築を目指しました。

折角あるものだし親父にできたことだからと高をくくっていましたが、正直申しますと、、、めちゃ面倒でした。

まず、加工屋ごとに糊材料が違うのです。

たとえば、主なる糊材料は

砂子屋は、箔の輝きを引き出せていろいろと良い 三千本膠

洪型屋は、こんにやく糊

木版屋は、ふのり

更に、ホルマリンなどの防腐剤を使わないと、調整後どんどん痛む（腐敗する）ため、一日で使い切るのがベスト、なので扱がいなくても、残った糊はパーです。

また、この調整が微妙で、さすが天然材料、同じ商品でも袋によって、またその日の天気によって、刷毛の含みや敷料の定着加減などが違うのです。

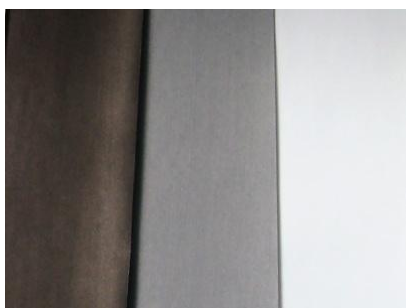
## 開発

天然材料と手業の組み合わせですから仕上がりの非同一は許しますが、仕上がりの同一イメージは安定させなくては商品になりません。そのため、材料購入先を限定し、材料 SDS を確認し、調整率をデータ管理し、刷毛の回数などの工程管理を行います。実は、それでも結構ぶれます。

## 概要

無彩色の無地をベースに、本金箔細工の輝きを施しています。

### ①胡粉・墨で刷毛染 白-灰-黒の 3 諧調



刷毛染 3 諧調



刷毛染例

刷毛棚

白は、胡粉、日本画の画材でおなじみの貝の粉です。ふのりを使います。  
灰色は、胡粉と墨を混ぜて練ります。糊は、工程上の理由と、マットな仕上がり感などで、膠ではなくふのりにしました。  
胡粉と墨を混ぜることは日本画でも行っており、具墨といます。  
ふのりでは、分離が起りかき混ぜながらの作業となりました。  
黒は、墨の色です。  
墨や具墨は、刷毛目が残りますので、刷毛染方向を横を多くしました。

### ②本金箔細工 砂子、石、野毛の箔押し仕上げ

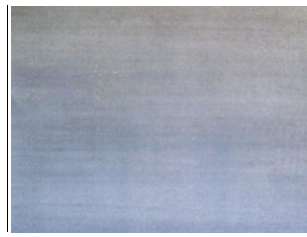
\*箔細工について・・・ 箔とは、・・・ 箔細工とは、・・・ 加飾方法について・・・  
失礼ですが、上記の説明は、第二号をお読みください。



箔細工の例 「石」  
箔細工の道具「筒・竹箸」



砂子胡粉紙



砂子具墨紙



砂子墨紙



石胡粉紙



石具墨紙



石墨紙



野毛胡粉紙



野毛具墨紙



野毛墨紙

\*写真が変。とくに、具墨の灰色の写り色が変わ。・・・すみません。

## 価格

(送料・税別)

3 諧調の刷毛染無地	¥6,000～¥6,400 /97 cm幅 2m丈
本金箔細工	本金箔使用のため価格が変動することがあります。
砂子シリーズ	¥44,000 /97 cm幅 2m丈
石シリーズ	¥55,000 /97 cm幅 2m丈
野毛シリーズ	¥66,000 /97 cm幅 2m丈

## 特徴

天然材料と伝統手業と和文化的性

天然材料 越前和紙 胡粉 墨★ 本金箔 ふのり 三千本膠

★唯一、購入墨液に微量の防腐剤入り

伝統手業 刷毛染「胡粉、具墨、墨」 本金箔細工「砂子、石、野毛」

テーマ 敢えて色彩のない室内装飾紙 同一印象非同一仕上がりの安定

受注対応 標準品と受注対応にて、用途別価格とお客様の個別ご要望への対応

価格設定 直接販売を主体とすることで本金箔細工での値ごろ感を実現

## 意義

平安時代からの床の間文化が、日本の美意識やおもてなしの多様性を知らしめ国民の寛容さを醸成したとあります。

襖など室内装飾紙は、その一端を担ってきたという自覚をもって開発しました。夢ですが、

おもてなす 誰かを想って飾る という美意識の絆

古今の美意識の物語に触れる 共感できる ということの寛容さ

無彩で世界平和に寄与できることはないでしょうけど、自己主張を抑えた存在感に、何かヒントがあるのでは…東京オリンピックに向けて、日本にある多様な美意識を披露して、世界中が寛容な気持ちを持てますように。

## 意匠性

新機軸は、野毛のデザインですが、なにしろ手業で一つ一つ糊を引いては、1本ごとに置いていくので、同じになりません。なので意匠権はむずかしい。

ということで、

カタログ寄託 社団法人日本デザイン保護協会様受入 5/18 日

天然材料と伝統手業の加飾紙 無彩 C201700049

**発信方法** …がないので、エントリーシートを書いて下記に応募中です…

1、世界発信コンペティション 応募

【無彩】暮らしを潤し豊かに、和の美意識天然材料伝統手業で新おもてなし

2、東京ビジネスフロンティア 出展申し込み

【無彩】環境にやさしく、必要な分だけを少量制作、

和の美意識を目指し敢えて色彩の無い室内装飾紙

3、日経地球環境技術賞 応募

自然素材と手業で室内装飾紙を制作する技術を開発

## 添付資料

1、カタログ 無彩

2、無彩 価格表

…では次回

**WEB ショップ「一吉」店主 (有) 湯島アート 一色清**

住所 (柏工場) 〒277-0863 千葉県柏市豊四季 945-448

FAX 04-7144-2669

✉ [issiki.kiyosi@maroon.plala.or.jp](mailto:issiki.kiyosi@maroon.plala.or.jp)

<http://www.yushima-art.co.jp>

